

自衛隊員が「殺し、殺される」危険

戦争法^{安保法制}廃止 待ったなし

戦後70年、自衛隊から1人の戦死者も出さず、1人の外国人も殺さなかった日本。戦争法が「海外での武力行使」を認め、後戻りできない道に踏み出そうとしています。

自衛隊が派遣されている南スーダン、国連も「武力紛争が続いている」と報告する危険な地域です。そんな所で武器を使うことは、憲法が禁じる武力行使そのものです。



自衛隊員が「殺し、殺される」危険に直面。相手の少年兵や民間人の命を奪ってしまったら取り返しがつきません。戦争法は今すぐ廃止するしかありません。

折り目

参院選の予定候補

〔比例代表〕

大門みきし



大阪



わたなべ 結

兵庫



金田 峰生

京都



大河原 としたか

滋賀



佐藤 こうへい

奈良



いずみ 信文

和歌山



坂口 多美子

制度解説

参院選挙
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」
選挙区は「**候補者の名前**」で

政党名を
と書きます

参議院比例代表は政党名でも個人名でも投票できます

熊本地震 救援募金 にご協力を
お願いします

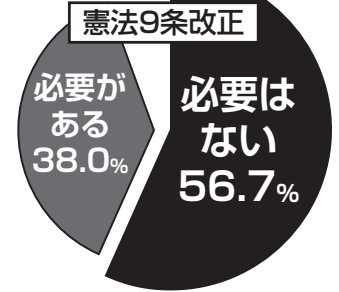
参院選

安倍改憲にストップを

憲法

9条 守り抜く 日本共産党

安倍自公政権は「憲法9条の下では集団的自衛権は行使できない」という従来の憲法解釈を覆し、戦争法=安保法制を強行しました。今度は憲法の条文そのものを変える「明文改憲」をすすめています。自民党の「改憲案」は、自衛隊の海外での武力行使を何の制約もなしに行えるようにし、「海外で戦争する国」づくりを完成させようというものです。



〔京都〕3月12日付
日本世論調査会 憲法世論調査

参院選は、「自民党改憲案」=安倍改憲を許すか、戦争法の廃止かが大争点。日本共産党は、立憲主義と平和主義、民主主義を取り戻し、「個人」が大切にされる政治をめざします。

自民党改憲案 国家が国民を従わせる

憲法9条を変え、「国防軍」を明記。さらに、「緊急事態条項を加える」という安倍首相。緊急事態時には、内閣は国会によらず法律を出せる、基本的な人権も制約できる—安倍改憲の狙いは独裁政治づ

くりです。

そのうえ憲法13条の「個人としての尊重」の「個人」の言葉を削除。あからさまに人権を敵視しています。「お国のため」をめざす改憲を許してはなりません。

近畿民報

2016年4月 No.3(第232号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06 (6975) 9111 Fax.06 (6975) 9115
Eメール: jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を
発表しました。